

岡山市立図書館電算システム
構築・運用保守等包括外部委託業務に係る
技術提案記載項目一覧表

令和6年5月

岡山市

技術提案記載項目一覧表（岡山市立図書館電算システム）

大分類	中分類	評価項目		技術提案記載項目	評価ポイント	配点
		No.	項目名			
提案内容 (共通)	業務実施 方針	1	①基本方針	(1)「岡山市立図書館電算システム調達仕様書」(以下「調達仕様書」という。)に基づき、現在の岡山市の状況と図書館を取り巻く環境及び今後求められるサービス等について、提案にあたっての基本的な考え方、方針(取り組み姿勢)、他社と比較した優位点、本市にとってのメリット、効果について提示すること。	本業務の背景・目的を理解した上で、 ・企業としてITサービス提供方針が明確になっているか。 ・提案にあたっての基本的考え方が本市の方針と一致しているか。	30
		2	②提案システムによってもたらされる効果	(1)本システム構築において導入予定のパッケージシステムによって、現行の業務に対してどのような効果が期待できるか提示すること。 (2)調達仕様書及び「岡山市立図書館電算システム機能仕様書」(以下「機能仕様書」という。)等から読み取れる現行システムの課題、業務のやり方、業務の流れ、業務上の制約事項とその代替案、業務効率化効果等を具体的に提示すること。 (3)調達仕様書及び機能仕様書にない独自の提案がある場合、その効果を提示すること。ただし、ICタグ利用が必須の提案は評価しない。	・本市の業務や解決すべきシステム上の課題、期待する効果等を理解した内容になっているか。 ・パッケージのコンセプト等が具体的に提示され、パッケージ導入による効率的な業務の実現など導入効果が見込まれるか。 ・導入リスクの正確な認識、リスク回避の方策、代替案の妥当性があり、パッケージが業務遂行上の制約にならないか。	30
	実績	3	①他都市での導入実績	(1)日本の地方自治体での図書館システムで、入札参加資格に合致するシステムの構築及び保守実績(3箇所程度)を提示すること。 ① 図書館(又は都市)名 ② 契約日及び履行期間 ③ 該当図書館システムが対象にしている令和4年度末の蔵書冊数(資料区分「図書」のみ) ④ 該当図書館システムが対象にしている令和4年度の年間貸出冊数(利用者区分「個人」を対象、図書・雑誌・AV資料含む)	・一定規模以上の地方自治体で導入実績のある企業か。 ・本市クラスの蔵書冊数・貸出冊数規模の自治体における業務内容、システムの複雑さ等に対応できる能力のある企業か。	10
		4	②成功事例と反省点	(1)図書館業務システム導入の成功事例(自治体名、導入期間、役割、実施フェーズ等)と成功要因について提示すること。 (2)進捗管理・品質管理・仕様変更管理等で反省すべき事例(自治体名、導入期間、役割、実施フェーズ等)があれば、その原因と教訓としていることについて提示すること。 ※反省すべき事例とは、中程度以上の規模で、その工程を妨げる要因となった問題	・成功要因を正しく把握できている企業か。 ・顧客にとって価値のある仕事をしてきた企業か。 ・最大規模の事例で成功し、その経験則をノウハウとして持っているか。 ・他自治体で起こした問題を提示し、うまくいかなかったことを繰り返さないよう原因分析し次のプロジェクトに生かしている企業か。	10

技術提案記載項目一覧表（岡山市立図書館電算システム）

大分類	中分類	評価項目		技術提案記載項目	評価ポイント	配点
		No.	項目名			
プロジェクト管理	プロジェクト管理	5	①プロジェクト管理全体方針	(1)本システム構築・保守におけるプロジェクトマネジメント手法及びその体制(会議体とその内容)、実績・経験・スキルについて提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントの手法とそれを実施できる体制、スキルに問題はないか。 本市との会議体、会議内容、頻度等に問題はないか。 	10
		6	②進捗管理(スケジュール)	本業務は、「システム構築」、「システム保守」の2工程に区分することができる。 (1)それぞれの工程で実施する作業内容と時期、役割分担及び進捗管理上のポイントを提示すること。 (2)本市が休館期間中に実施予定である蔵書点検も考慮すること。 (3)休館前の開館中において、図書館業務や図書館利用者への影響等が発生する場合は、その旨を提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> 受託者としての役割認識を踏まえ、目標が達成できる実現性の高いスケジュールになっているか。 作業項目が月単位、週単位まで細分化され、ヒアリング、途中検査等の実施時期・回数・頻度等が提示されているなど経験に裏打ちされた提案であるか。 タスク間のインプット、アウトプットの関係や結びつきが明確で実施内容や時期が不明なタスクはないか。 図書館業務や図書館利用者への影響を最小限にとどめつつ、本システム稼働までに円滑で実現性の高い計画になっているか。 	10
		7	③品質管理	(1)品質管理をどのような基準でどのような手順で行うのかその方針を提示すること。 (2)品質不足(バグ、テスト条件不備、性能不足、設計ミス、仕様認識間違い、等々)を防ぐ方策とそれが確認された場合の対応策、各テストの種類と内容、テスト結果の検証方法等を提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> 品質管理の取り組み姿勢、品質管理の具体的方法論が確立し、その実行が期待できるか。 各種テストによる品質保証、品質不足の発見と即時対応ができるか。 	10
		8	④リスク管理	(1)本業務の確実な履行に当たり考えられるリスク要因(ユーザー側との認識不一致、要件定義に非協力、決めない等々)を洗い出し、体系的に整理して、その対策や解決プロセスを提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール遅延、品質不足、工数オーバー等の原因となるリスクが分析、漏れなく整理できているか。 対策や解決のプロセスが具体的に妥当であるか。 	10
セキュリティ対策	セキュリティ対策方針	9	①セキュリティポリシー	(1)データ取扱いに対する考え方や取り組み姿勢について提示すること。 (2)セキュリティ確保の基本的考え方、脅威と対策方法を体系的に提示すること。 (3)セキュリティ対策に関する社員研修・教育について、具体的に実施していることを提示すること。 (4)本業務実施に向けて、関連会社(下請け等)がある場合については、関連会社へのセキュリティ対策の徹底についての実施内容を提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ確保の基本的考え方、脅威と対策方法が妥当であるか。 データ取扱いに対する考え方が適切でデータの安全対策、管理責任体制が取られているか。 業務を実施する社員(作業員)に対して、どのようにセキュリティ対策について研修や教育を行い、セキュリティ対策に対する認識を十分に有しているか。 	30
		10	②セキュリティ対策	調達仕様書「11. 9セキュリティ要件」の各要件等を踏まえ、 (1)システムが想定しているセキュリティ機能面(ユーザー認証、パスワード管理、アクセス制御、ログ管理、データの暗号化、バックアップ等)について、具体的な対策を提示すること。 (2)サーバのOS及び業務パッケージを含むミドルウェアに対して、セキュリティパッチの適用についての対応方法や考え方を提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ対策について、具体的にどのように行っているか。 業務運用面を考慮した対策となっているか。 最新のセキュリティパッチが適用でき、脅威が回避できるソフトウェア等を使用しているか。 サーバOSや業務パッケージが最新のセキュリティパッチに速やかに対応できるようになっているか。 	30

技術提案記載項目一覧表（岡山市立図書館電算システム）

大分類	中分類	評価項目		技術提案記載項目	評価ポイント	配点
		No.	項目名			
システム要件		11	①システム概要	(1)本システムの全体像やシステム構成(ハード、ソフト、データベース、システム機能、外部連携機能等)を提示し、それぞれの構成要素及び関係について説明すること。	・システムの全体像やシステム構成が可視化できシステムの概要イメージが理解できるか。 ・信頼性、拡張性、コストパフォーマンスが保証される実現方式について提案されているか。	10
		12	②規模・性能	調達仕様書「11.6規模・性能要件」の各要件等を踏まえ、 (1)提案するシステムのシステム構成や処理能力について提示すること。 (2)その処理能力をどのように保証するのかについて提示すること。 (3)処理時間やレスポンスに問題がある場合は、その問題を定量的観点で示し、原因特定の視点と手順、対応策について具体的に提示すること。 (4)本市規模の大量データ処理の考慮点について具体的に提示すること。	・本市において想定される基本的な処理件数に対して、求められる処理能力(バッチ処理が翌日オンライン開始まで終わる、処理時間・レスポンスがボトルネックになって業務に支障を及ぼすことはない等々)を安定的に提供できるか。 ・大量データ処理のための設計上の考慮点が適切に示されているか。 ・図書館業務を行う上で、十分な規模と処理能力等を有し、それが本市の要求を満たしているか。	30
		13	③業務操作性	(1)業務やユーザの切替、画面展開の概要や操作方法について、画面イメージ等を用いて提示すること。 (2)操作性向上を踏まえ、各種業務画面の画面構成等(項目の配置、ボタンの位置、文字の大きさ・色等)について、画面イメージ等を用いて提示すること。 (3)入力支援やGUI等を用いた操作性向上のための工夫や特徴について提示すること。 (4)パッケージ操作を行う職員の負荷軽減、業務の迅速かつ正確な遂行等を支援する機能や工夫があれば具体的に提示すること。	・画面展開や画面構成に工夫がされており、操作方法が標準化されているなど操作に不慣れな利用者でも業務を迅速かつ正確に遂行できる高い操作性を有しているか。	30
		14	④利用者向け操作性	(1)利用者向けシステム(館内OPAC、WebOPAC、スマホOPAC)の操作方法、画面構成等に関して、検索・予約・パスワード登録及びその他各種サービスについて、画面イメージ等を用いてそれぞれ具体的に提示すること。	・利用者向けシステム(館内OPAC、WebOPAC、スマホOPAC)は、操作に不慣れな利用者でも快適に利用でき、検索や予約、パスワードの登録・管理等が簡易で容易であるか。	30

技術提案記載項目一覧表（岡山市立図書館電算システム）

大分類	中分類	評価項目		技術提案記載項目	評価ポイント	配点
		No.	項目名			
提案内容 (システム構築)	システム開発	15	①開発手法	(1)本システム構築における開発手法(ウォーターフォール、プロトタイプ、スパイラル、それらの組合せ、等々)とその採用理由を提示すること。 (2)次工程に進むための条件について提示すること。	・採用する開発手法及び採用理由の妥当性、合理性はあるか。 ・問題や課題を次工程に先送りされないための歯止めはあるか。	10
		16	②開発体制	(1)本業務の実施体制図と各作業工程で従事する技術者の役割と人数を提示すること。 (2)従事する技術者の会社、所属、職位、経験年数、実績、スキル、資格、専任・兼任区分等を提示すること。 (3)再委託する工程があれば、業務内容、協力会社名、管理監督体制、技術者レベル等を提示すること。 ※技術提案書(副本)には入札参加企業名(協力会社名を含む)又はそれを類推できる表現を行わないこと。	・本業務を確実に実施できる体制が構築できるか。 ・作業項目ごとに役割ベースで人数が足りているか。 ・再委託に問題はないか。 ・本市職員との役割分担が明確で、本市に著しく負荷の生じるものになっていないか。	30
	本番移行	17	①ハードウェア導入・システム移行方針	(1)機器調達、搬入、設置、設定、システム切替等、導入・システム移行について、具体的な方法及びスケジュールを記載すること。 (2)現行システムから本システムに移行するための移行に関する方針、スケジュールと移行要件分析の進め方と実施方法について提示すること。 (3)現行システム運用保守業者との役割分担について提示すること。	・業務の継続性が担保できる移行方法、スケジュールになっているか。 ・移行方法が図書館業務の妨げになっていないか。	30
		18	②データ移行	(1)データ移行要件を満たす上で考えられるリスクや留意点を示し、データ移行の実現方式を具体的に提示すること。 (2)データ移行前、現在稼働中のシステムでの業務に制限が生じる場合は、その期間と影響範囲について提示すること。 (3)移行期間に考慮しておくべき事項とその対応策を提示すること。	・データ移行が確実に実行される実施方法になっているか。 ・リスクや留意点を考慮して、過去の事例や経験をもとに作業の進め方を詳細に提示しているか。 ・図書館業務への影響を最小限にとどめつつ、新システム稼働に必要なデータを、円滑・確実に移行できる計画になっているか。	30
		19	③研修	(1)本番実施前に行う図書館職員向け及びシステム担当者向け研修について、研修内容、実施方法、対象者、回数、マニュアル(サンプル)等を提示すること。 (2)本番稼働後の定期的な研修についてもその計画、実施内容を提示すること。	・スムーズに本番実施ができる研修内容になっているか。 ・マニュアル類は実務に役に立ちそうか。 ・本番稼働後のシステム改修の度にきちんとマニュアル類を改訂していく提案になっているか。	10
	パッケージ(保守)	20	①機能拡張の方向性	調達仕様書「11.8拡張性要件」等を踏まえ、 (1)パッケージシステムの機能拡張対応の考え方について提示すること。 (2)パッケージ機能不足が原因で本市固有カスタマイズが増えた場合、パッケージ標準機能に含めることとはどの程度可能か提示すること。	・環境の変化に対して、パラメータ設定による長期的な柔軟性・拡張性が可能な限り考慮されたパッケージシステムになっているか。 ・本市固有機能が将来的にパッケージ標準に組み込まれ、パッケージのバージョンアップが本市にとって有益なものになりうるか。	30
		21	②システム改修の考え方	(1)新たな要望によるシステム機能追加以外の対応、例えば、業務遂行上支障がある不具合、信頼性問題、設計ミス、バックログ、バグ、システムの作りの悪さ等に対応するためのシステム改修に対して、サービス調達契約の本旨に従い、どの程度まで保守の範囲内で実施できるのか具体的かつ詳細に提示すること。	・サービス調達契約の意義を理解した上で、図書館システムの品質と可用性を複数年にわたり継続的に保証することができるか。 ・環境が変化し、問題が発生する度に、高額な追加費用を本市が一方的に負担させられることは無いのか。	10
		22	③長期継続利用	(1)パッケージの長期継続利用(5年間)について、サポート上の課題・リスクとその対応策について提示すること。	・技術動向等の環境変化に柔軟に対応できるパッケージが提供され、それを長期的に継続利用することができるか。 ・契約期間中に大きな技術環境の変化が生じ、ハード・ソフトが陳腐化しても追加費用が抑えられ保守の範囲内で対応できるか。	10

技術提案記載項目一覧表（岡山市立図書館電算システム）

大分類	中分類	評価項目		技術提案記載項目	評価ポイント	配点
		No.	項目名			
提案内容 (システム 保守)	運用保守	23	①保守業務範囲と 役割分担	(1)運用保守仕様に基づき、サービス提供する保守業務の範囲、内容、方法を具体的に提示すること。 (2)本市と連携して行うべき業務について、業務のプロセスと役割分担について提示すること。	・本市との役割分担を正しく理解できているか。 ・保守対象と対象外が明確になっており、保守業務の範囲、内容、方法が適切か。役割と責任の比重が適切なものであるか。	10
		24	②安定稼働	(1)システムの安定稼働の観点から、考えられるリスクとその対策を提示すること。	・保守事業者として、業務上のリスクを把握しており、その対策も考慮できているか。	30
		25	③障害対応(ソフト ウェア)	(1)重度・軽度のシステム障害が発生したときの対応策について具体的に提示すること。 (2)他都市において、システム障害(障害の程度は問わない)が生じた際に行った事例を障害状況も含め具体的に提示すること。	・システム障害が発生した場合において、業務への影響をいかに低く抑えることができるか。	30
		26	③障害対応(ハード ウェア)	(1)重度・軽度のハードウェア障害が発生したときの対応策について具体的に提示すること。 (2)他都市において、ハードウェア障害(障害の程度は問わない)が生じた際に行った事例を障害状況も含め具体的に提示すること。	・ハードウェア障害が発生した場合において、業務への影響をいかに低く抑えることができるか。	30
		27	④運用支援	(1)開発事業者として、本市職員に対する運用支援、問合せ対応サポート等について具体的に提示すること。	・本市が実施する運用業務に対して、システム開発者としての運用支援を適切に行えるか。 ・本市が実施する運用業務に対して、開発事業者としての運用責任を担保できるか。 ・本市の業務遂行上の疑問や問題に迅速に対応できるか。	10
		28	⑤保守体制	(1)本市の運用保守仕様に基づき、保守業務を実施する上での体制・要員を提示すること。 (2)従事する技術者の会社、所属、職位、経験年数、実績、スキル、資格、専任・兼任区分等を記述すること。 (3)事業所の場所等が分かるように具体的に提示すること。 ※技術提案書(副本)には入札参加企業名又はそれを類推できる表現を行わないこと。	・システムの安定稼働を担保できる体制、要員が確保できているか。 ・障害が発生した場合、本市やデータセンターに何分以内に到着できるか。	30
	SLA	29	①管理項目及び管理 指標	(1)サービスの継続的な維持・向上を目的として締結するサービスレベル合意書(SLA)の管理項目及び管理指標について、本市の基本的な考え方に対する見解を示すとともに、本目的達成上特に重要と考える管理項目、管理指標を提案すること。	・本仕様書の中で提示した「サービスレベル管理」に対する見解及び提案の妥当性について採点する。	10
		30	②SLA運営方法	(1)サービスの継続的な維持・向上を目的として締結するサービスレベル合意書(SLA)の運営方法について、本市の基本的な考え方に対する見解を示すとともに、本目的達成上特に重要と考える運営上のポイントを提示すること。	・本仕様書の中で提示したサービス品質基本合意に関する基本的な考え方に対する見解及び提案の妥当性について採点する。	10